科目		専攻科ゼミナールII (Advanced Course Seminar II)		
担当教員		日下部 重幸,中西 宏,橋本 渉一,辻本 剛三,山下 典彦,上中 宏二郎		
対象学年等		都市工学専攻・2年・前期・必修・2単位		
学習·教育目標		工学複合プログラム B4(40%) C2(60%) JABEE基準1(1) (d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(f),(g)		
授業の 概要と方針		専門工学に関連する外国語文献を輪読する.担当部分について,その内容を説明し考察を述べるとともに討論をゼミナール形式で行う.幅広い工学分野の新しい学識を得るとともに,関連する文献を調査することにより最新技術や研究の手法について実践的に学ぶ.		
		到 達 目 標 達成度 到達目標毎の評価方法と基準		
i.	【B4 】 都市 , 日本語で訪	工学関連の英文文献を読み,その内容を理解し 専門分野の英語文献を用いた輪読や和訳レポートにより評価 する。		
2 【C2 】専門分野 の内容を発表する		分野の問題に関連する英語の文献を調査し,そ することができる。 専門分野の問題に関する英語文献を調査させ,その文献の大意を発表させて評価する。		
3				
4				
5				
6				
0.				
7				
8				
9				
10				
総合評価		輪読・レポート・調査・発表・討論など各担当教官による評価点を平均して評価する.		
テキスト		プリント		
参考書				
関連科目				
履修上の 注意事項		都市工学実験実習,卒業研究:都市工学に関する調査・分析手法など基礎的な知識を必要とする. 工業英語 :専門分野の基礎的な英語として学習している.		

週	授i テーマ	業計画 1 (専攻科ゼミナールII)
1	Fluid Mechanicsの原書輪読	輪読し,式の意味などを含め解説させる .
2	Fluid Mechanicsの原書輪読	輪読し,式の意味などを含め解説させる.課題を出し次週までに提出させる.
3	A Structural Analysis Program for Static and Dynamic Response of Nonlinearの原書輪読	輪読し,内容を解説させる.
4	A Structural Analysis Program for Static and Dynamic Response of Nonlinearの原書輪読	輪読し,内容を解説させる.課題を出し次週までに提出させる.
5	The Aesthetics of Tokyoの日本語訳と内容解説	輪読し,内容を解説させる.
6	The Aesthetics of Tokyoの日本語訳と内容解説	輪読し,内容を解説させる.和訳レポートを次週までに提出させる.
7	Environmental Issue等の原書輪読	環境問題に関するテーマとして輪読し,内容の解説をさせる.
8	Environmental Issue等の原書輪読	環境問題に関するテーマとして輪読し,内容の解説をさせる.
9	Environmental Issue等に関する英文文献の調査と 発表	文献の概要を発表させる.
10	Seismological Backgroundの読解	英文文献を読解することで,耐震設計に必要な地震学の概要について学ばせる.
11	Seismological Backgroundの読解	英文文献を読解することで,耐震設計に必要な地震学の概要について学ばせる.
12	Seismological Background等に関する英文文献の調査と発表	文献の概要を発表させる.
13:	Hybrid Structures に関するComposite Construction Design for Buildingの輪読	輪読し,内容の解説をさせる.
14	Hybrid Structures に関するComposite Construction Design for Buildingの輪読	輪読し,内容の解説をさせる.課題を出し次週までに提出させる.
15	Hybrid Structures 等に関する英文文献の調査と発表	文献の概要を発表させる.
備考	中間試験・期末試験は実施しない。 毎回	- 古和辞曲を持会すること
考	丁一回点感:知个点感点失泥しない。 母性	大打HHTがC]可多する に。